

令和4年度 第2回 学校法人木村学園 大阪電子専門学校  
電子工学科 学校関係者評価委員会

【開催日時】 令和5年3月3日(金) 10:00～11:00  
【開催場所】 大阪電子専門学校 3階コワーキングスペース

【出席者】

学校関係者評価委員 (五十音順・敬称略)  
秋山 英作 大日通信工業株式会社  
井本 直正 株式会社デナリパム  
小森 望充 国立大学法人九州工業大学  
佐々木 啓 久米電気株式会社  
吉田 剛 株式会社ベルチャイルド

弊学園教職員

木村 誠 学校長  
上田 良和 教育改善ユニット・電気設備科班長  
浅野 勇介 電子工学科主任・電子工学科1年担任  
中本 智 就職指導ユニット主任  
井上 雄太 議事録作成担当

【議案】 1. 自己評価報告書の報告及び質疑応答  
2. 学生アンケート案に関する報告及び質疑応答

【議事録】

1. 自己評価報告書の報告及び質疑応答

・講義や講演会の受講について、受講後のフィードバックは行っているのかと委員より質問があった。学校としては、受講したすべてに対して、感想等を学生に提出させていないため、今後フィードバックについて検討していく。また、エンジニアとしての職業倫理の部分を、講師の先生から授業内で教わるのではなく、個別で講習や講演会を実施してもいいのではないかというご意見を頂いた。

・学生の受け入れ募集と財務状況は密接に関わっている。学生数を確保するため、社会人教育の面から、ダブルスクールを行う情報学科系の大学生やポリテクセンターから就職を目指す社会人に対する受け入れを行うこともできるのではないかという意見を頂いた。現状、専門学校のカリキュラムでは本校が昼間部であるため、時間的な面で難しく、カリキュラムの変更が必須になってくる。

・ロボット開発の授業を、現在の開発中心の授業から、実践や使用の部分の授業へ発展させる構想は、学生のプラスになるように前向きに考えているが、実践の部分の学生のニーズやコース授業の時間数の問題もある。

・卒業生の学び直しの為の受け入れや、卒業生同士の交流や情報交換の場としての同窓会については、現在は同窓会の活動が行われていないが、今後検討していく。

- ・卒業生に関する就職先へのアンケートについて、現在は求人票提出の段階で卒業生についての記述欄は設けているが、本校から伺うことはあまりしていなかった。アンケートの実施に対しては、委員からも肯定的なご意見が多かったため、就職課と連携しながら前向きに進めていく。

## 2. 学生アンケート案に関する報告及び質疑応答

- ・自宅学習やアルバイトの状況をアンケートしているが、アンケートの結果を踏まえての対応を行っておらず、現状把握が目的になっている。アルバイトに関しては、就職活動の為にの方がいいと指導をしている。学習面では、対応の予定はないが、著しく成績が良くない場合は対策を講じる必要があると考えている。

- ・委員からは、アンケートで好評だった教科、不評だった教科で、その教科を選んだ理由を詳しく学生から聞き取れれば、教育の改善に繋がるのではないかというご意見を頂いた。

- ・校内美化の項目が、他の項目より意見が二分しているため、委員からは、改善の余地があるとご指摘を受けた。

- ・電子工学科の学生が少ない原因としては、大学での工学部系の学生が増えていることが挙げられるが、その対策として、他校と違う点である「家電」や「ロボット実習」をPRすることで、学生募集に取り組んでいる。また、学生募集について、実際に入学された学生から、どのようなニーズがあるかをアンケートすればいいのではないかというご意見を頂いた。

以上